

東京学芸大学附属図書館概要



2025

特色

P.1

- ・ 1. 東京学芸大学附属図書館の特色
- ・ 2. 東京学芸大学附属図書館の使命と目標
- ・ 3. 最近の活動
- ・ 4. 加盟組織

利用案内

P.12

- ・ 1. 開館時間
- ・ 2. 各種サービス時間
- ・ 3. 貸出冊数・期間
- ・ 4. インターネットサービス

組織

P.13

- ・ 1. 組織
- ・ 2. 職員数
- ・ 3. 歴代附属図書館長
- ・ 4. 学術情報会議名簿

所蔵資料

P.15

- ・ 1. 特別コレクション
- ・ 2. 電子ジャーナル
- ・ 3. 電子ブック
- ・ 4. オンラインデータベース
- ・ 5. CD-ROM, DVD-ROM
- ・ 6. デジタル教科書
- ・ 7. 自館作成デジタルコンテンツ

施設・設備

P.20

- ・ 1. 図書館施設
- ・ 2. 主要設備

統計

P.22

- ・ 1. 主たる利用対象者数
- ・ 2. 蔵書
- ・ 3. 利用状況
- ・ 4. 相互協力
- ・ 5. 市民への公開
- ・ 6. 機関リポジトリ
- ・ 7. デジタルアーカイブ 登録コンテンツ数
- ・ 8. 資料費等予算

広報

P.27

- ・ 1. 出版物
- ・ 2. ウェブサイト

沿革

P.28

平面図

P.30

特 色

1. 東京学芸大学附属図書館の特色

本学は教育系大学として長い伝統と実績を有し、教育に関する研究、教員養成に関する教育・研究の中核的な役割を果たしてきた。附属図書館は、それらに資するため、教員養成や教育に関する資料の体系的な収集に努め、約91万冊の図書、約1万2千タイトルの雑誌等による蔵書を構築してきた。特に、往来物や明治期初年以来の初等教育の教科書等を含む「望月文庫」をはじめ、近世頃から近代にかけての絵双六を集めた「双六コレクション」など、貴重な教育関係資料のコレクションの充実を図ってきた。我が国の戦後の小学校・中学校・高校の教科書、学習指導要領については、網羅的な収集を行っており、研究者をはじめ、教員を目指す学生や現職教員などの幅広い利用者のニーズにこたえている。

本学のこうした特色ある蔵書をデジタルアーカイブとし、また、本学教職員の研究成果の保存・公開を東京学芸大学リポジトリにより公開するなど、インターネット上での情報発信にも力を注いでいる。

平成 25 年度補正予算により、平成 26 年 6 月から平成 27 年 3 月にかけて、昭和 49 年に建築された図書館建物の耐震性能の強化を行うとともに、全面改修を行った。平成 27 年 5 月に全面リニューアルオープンした附属図書館にはラーニングコモンズが設置され、アクティブ・ラーニングへの対応が図られた。

さらに、令和元年度国立大学法人等施設整備実施計画協議予定事業に採択され、令和 2 年 1 月より教職大学院アクティブラーニングスペースと合わせて図書館増築を実施し、ラーニングコモンズ・閲覧席の大幅拡張や、貴重書庫の整備・地下書庫の拡張による収蔵能力増強、大学史資料室の整備を行った。これは、創造力と実践力を身につけ、今日の学校教育における諸課題に積極的に取り組む教員を養成する本学のミッション実現のため、附属図書館が「教えあい学びあう」知の創造と循環を生み出す拠点となるという使命を形にしたものである。



図書館公式キャラクター「まなぶんぶん」

(平成 30 年 3 月 学内公募により誕生)

2. 東京学芸大学附属図書館の使命と目標

[「東京学芸大学附属図書館の使命と目標 ～デジタル社会の教育を支える「知の循環」の再構築～」より抜粋]



東京学芸大学附属図書館の使命

東京学芸大学附属図書館は、大学の使命を果たしそのビジョンを実現するために、質の高い学術情報を提供し、教育研究及び学生の学修を支援する拠点の一つとして機能する。デジタル化が一層進展する社会において、蔵書を超えた知識や情報の共有の取組みを進めるとともに、新たな知を紡ぐ場を提供し、「知の循環」を再構築していく必要がある。また、教育現場の支援のために地域社会との連携を進め、さらに世界に向けて本学の研究成果を発信する。



東京学芸大学附属図書館の目標

□ 学術情報基盤の整備

デジタル社会への不可逆的な進展を見据えつつ、日本の教員・教育支援者養成の中核的大学として、新たな教育研究基盤の確立に寄与するため、紙媒体・デジタルを問わず、質の高い学術情報を提供する。来館型サービスに加えて非来館型サービスの充実に努める。また、図書館職員は学術情報の組織化と利活用についての専門知識の習得及び能力向上に努め、学術情報の適切な収集、保存、提供を実現するとともに教員及び学生の研究・教育を支援する。

□ 学生の学修を支援する拠点の一つとして機能

予測不可能な社会の変化に対応し、深い思索を伴った学びを促進するため、学修支援環境の整備を行い、学生のアクティブ・ラーニングを支援する。学生の学びの連続性を確保するためにも、学校図書館との連携を図っていく。また、GIGA スクール時代に対応したリテラシー教育を強化する等により、教員・教育支援者養成の実践の場を提供し、知の創造・発信拠点として「知の循環」を促す。

□ 教育現場、地域及び国際社会に貢献

本学の研究成果及び教育コンテンツのアーカイブと発信の機能を強化し、広く国内外へ還元するほか、図書館の活動を通して現職教員への支援を行う。また、将来の社会変化に伴う多様な利用者を想定し、生涯学習社会における役割を果たし、地域の活性化に貢献する。

3. 最近の活動

「教職支援コーナー」を設置

令和6年7月に、附属図書館1階グローバルエリアに「教職支援コーナー」を設置した。

同コーナーは、本学の学生が教職について知り、同職を目指す準備ができる環境を整えることを目的としている。設置および運営にあたっては、東京学芸大学創基150周年記念基金と、辟雍会、(一社)東京学芸大学同窓会からの支援を得た。

同コーナーには教員採用試験の過去問、教員就職に関する図書や雑誌を配置し、キャリア支援課からの支援情報(説明会やイベント情報など)も掲示している。



<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20240725>

「ダイバーシティ・インクルージョン図書コーナー」を設置

本学では、令和6年12月1日にダイバーシティ・インクルージョン宣言を行うとともに、ダイバーシティ・インクルージョン推進本部を設置し、この考え方を今まで以上に推進していくこととなった。これを機に、附属図書館2階に「ダイバーシティ・インクルージョン図書コーナー」を設置した。

同コーナーには、国立女性教育会館(NWEC)の専門図書館「女性教育情報センター」のパッケージ貸出サービスにより提供された図書を配置している。学生は、附属図書館での購入を希望する図書があれば、購入リクエストを行うことができる。今後、同パッケージ貸出サービスの利用を継続しながら、ダイバーシティ・インクルージョンに関する多様な図書を提供予定である。



* 国立女性教育会館 (NWEC) NWEC 図書パッケージ貸出サービス

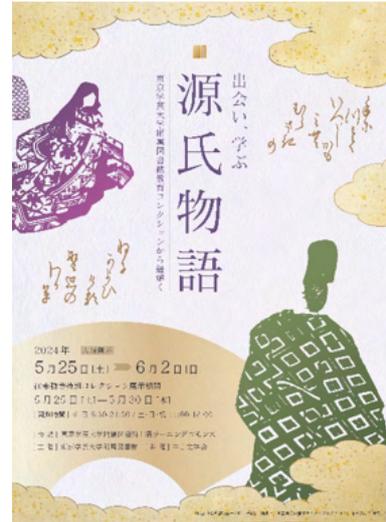
<https://www.nwec.go.jp/database/lease/index.html>

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20241202>

企画展「出会い、学ぶ『源氏物語』」の開催

中古文学会春季大会が本学で開催されることを記念し、中古文学会との共催により、企画展「出会い、学ぶ『源氏物語』—東京学芸大学附属図書館 教育コレクションから紐解く—」を令和6年5月25日（土）～6月2日（日）に開催した。

本展示では、現代でも高等学校古典の教材として教科書に取り上げられる学習教材としての『源氏物語』に着目し、当館の教育コレクションから江戸時代における初等教育書である「往来物」、近・現代における検定教科書を紐解いた。



企画展終了後、本展示の準備過程で得られた『源氏物語』が掲載された教科書のデータ、教科書に掲載された巻のデータを、Möbius Open Library（メビウス・オープン・ライブラリー：略称MOL）に所属する図書館スタッフでLOD化（※）し、オープンデータ「教科書の中の源氏物語 LOD」として公開した。

※LODとはLinked Open Dataの略称で、

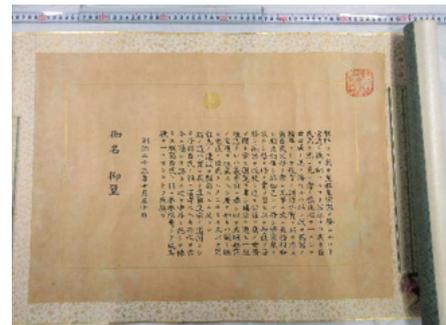
自由に再利用可能なオープンデータを機械可読形式で相互にリンクさせ、容易に検索や加工できるデータのこと。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/exhibitions/966>

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20241010>

東京学芸大学教育講演会の開催

令和6年6月25日（火）に、特別支援教育・教育臨床サポートセンター主催による第25回東京学芸大学教育講演会が附属図書館セミナールームで開催された。『くわしすぎる教育勅語』（太郎次郎社エディタス2019年）の著者でもある高橋陽一氏（武蔵野美術大学教授）を講師に迎え、明治23年に国民教化の基準として出された教育勅語について、当館所蔵資料を紐解きながらご講演いただいた。講演では、事前調査に基づき、当館所蔵の教育勅語（卷子本）が教育勅語謄本（明治謄本）であることが明らかにされた。講演会でとりあげられた資料については、高橋氏より調査撮影データの寄贈を受け、教育コンテンツアーカイブにて公開している。



*高橋陽一「望月文庫の教育勅語から見えてくること—目録未記載卷子本4点を中心に—」

『教育実践アーカイブズ 12』 東京学芸大学 特別支援教育・教育臨床サポートセンター, 2024.9

<https://doi.org/10.50889/0002000634>

<https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/item/12024001935>

第 59 回国立大学図書館協会賞を受賞

当館が行った「デジタル書架ギャラリー」の取り組みが第 59 回国立大学図書館協会賞を受賞した。

「国立大学図書館協会賞」は、国立大学図書館協会会員館に所属する者で図書館活動および図書館・情報学研究に顕著な業績をあげた者（個人およびグループ）に対して贈られる賞である。「デジタル書架ギャラリー」の取り組みは、令和 2 年 6 月のコロナ禍において、オンライン上でも本棚を見ながら本を探せるように、図書館の書架画像を公開した取り組み。現在までに OPAC との連携や附属学校のデジタル書架ギャラリーの公開、他機関との共同研究など発展性のある取り組みを継続的に行っていることが評価された。



<https://www.janul.jp/ja/news/20240613>

第 26 回図書館総合展 2024 ポスターセッションで 2 位を受賞

令和 6 年 11 月 5 日～7 日にパシフィコ横浜で開催された「第 26 回図書館総合展 2024（会場開催パート）」に、東京学芸大学附属図書館としてポスターセッションに出展した。「未来の先生を育てる図書館づくり」というテーマで、メインのポスターに加え、1 階の各コーナーを紹介する新聞風の掲示や、「学芸本ガチャ！」のリアルガチャも展示し、図書館の取り組みを紹介した。

来場者による投票が行われ、本ポスターセッションは 2 位を受賞した。



<https://www.libraryfair.jp/poster/2024/246>

「LOD チャレンジ 2024」データ作成部門 優秀賞を受賞

オープンデータとして公開した「教科書の中の源氏物語 LOD」が「LOD チャレンジ 2024」において、データ作成部門の優秀賞を受賞した。

「LOD チャレンジ」（LOD チャレンジ Japan 実行委員会）は、幅広い分野におけるオープンなデータ作りとデータを活用した取り組みを表彰するものである。受賞理由として、本データが研究者や教育者が新たな知見を得る基盤データとなり、源氏物語の教育的価値等多様かつ多角的な分析可能性を広げ、デジタル人文学への寄与も期待できる点、大学図書館が蔵書の中に隠れた知識を調査し新たな知として提供するモデルケースとなる点が評価された。



LOD Challenge
2024

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20241010>

<https://2024.lodc.jp/awardPressRelease2024.html>

古本募金による蔵書の充実

* 東京学芸大学附属図書館〈未来の先生支援〉古本募金

～本の力で、ともに育てる。未来の先生応援プロジェクト～

平成 28 年 10 月より、学内外の方から読み終えた資料の寄付を受け、その売却代金で学生のための資料を購入する、古本募金プロジェクトを実施している。開始以来、累計 80 万円以上の資料購入予算を得ることができ、600 冊を超える学生用図書を購入した。令和 6 年度は、英語多読資料、教科教育関係の図書を購入し、蔵書の充実を図った。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/about/donation>

ラーニングコモンズを拠点とした学習支援活動

* 教員と連携した情報リテラシー教育の展開



附属図書館は、例年、学部 1 年生を対象とする必修授業「入門セミナー」における図書館活用法に関する 1 コマについて、担当教員の希望により、附属図書館職員による授業支援を実施している。教員は、「図書館ガイダンス」のみの 50 分バージョンと、「図書館ガイダンス」と「文献検索セミナー」を実施する 100 分バージョンから、実施内容を

を選択できる。令和 6 年度は、合計 39 回、約 940 名の学生に対して支援を行った。

また、通年、授業やゼミ単位で「図書館活用セミナー」を実施している。「図書館活用セミナー」は、申し込みのあった教員の担当授業や研究室・ゼミにおいて、附属図書館の利用方法、文献調査の方法、各種データベースの利用方法など、図書館を活用した学習・研究に関するセミナーを行うものである。内容は教員の要望に合わせてオーダーメイドとしている。令和 6 年度は、合計 15 回、約 160 名の学生に対して支援を行った。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/seminars>

* 学生・教職員の表現の場として、館内展示棚の貸出を開始

ラーニングコモンズに設置する展示棚について、令和 6 年度より、学生および教職員を対象に、学習・研究成果等の発表を目的とする展示活動への貸出を開始した。

図書館資料を活用した企画展示、授業の成果物等の紹介など、合計 12 回の展示が行われた。

教職大学院学生による「美術と音楽とことば」展
(7 月 1 日～31 日)



<https://lib.u-gakugei.ac.jp/guide/library/exhibit-shelves>

* 学習サポータによる企画展示

「学習サポータ」とは、活動を通して附属図書館の活性化を図る本学学生スタッフであり、主に以下の活動を展開している。



- (1) ラーニングコモンズ内展示企画立案, 実施
- (2) ウェブサイトの更新, SNS の更新(Instagram, X)

【令和6年度実施した企画展示】

- ・「なんじゃこりゃ!展 ~気になる表紙・タイトルの本集めちゃいました~」
(令和6年7月~令和7年2月)



- ・「としょかん探検隊Q」(令和7年2月~)



<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/supporter>

デジタル教科書の普及活動

* 「デジタル教科書・教材に関する協定書」の締結

デジタル教科書を活用した教育情報化推進のため、令和6年5月に「指導者用デジタル教科書使用および販売に関する覚書」を教科書発行者4社(教育出版, 大日本図書, 東京書籍, 光村図書出版)と取り交わした。本覚書に基づき、本学教員および学生は、各社が提供する指導者用・学習者用デジタル教科書・教材を学内で使用できる。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/textbook>

* デジタル教科書講習会の開催



「デジタル教科書使用および販売に関する覚書」に基づき、令和6年度は、東京書籍による講習会を開催した。

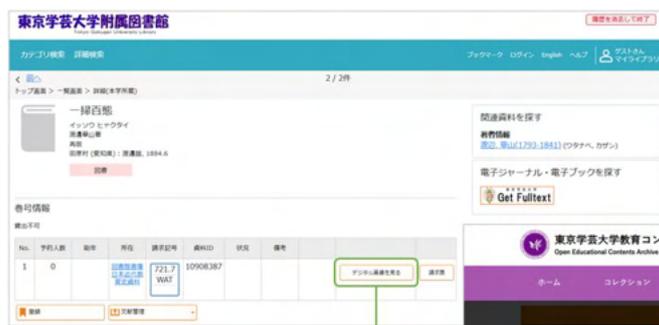
(令和6年12月 東京書籍)

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/learning/textbook>

デジタルアーカイブ利活用の推進

* 貴重資料のデジタル画像を OPAC から参照可能に

「東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ」で公開している貴重書のデジタル画像を、OPAC から参照可能とした。デジタル画像が「教育コンテンツアーカイブ」で公開されている場合、当該資料の OPAC 検索結果に「デジタル画像を見る」ボタンが表示され、直接デジタル画像を参照することができる。



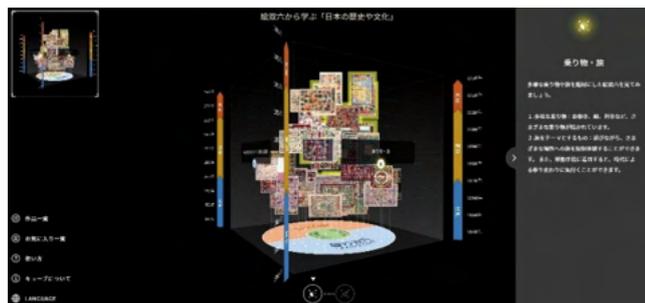
OPAC検索結果



教育コンテンツアーカイブ

* 現職教員や他機関と連携し、所蔵絵双六を活用した教材を開発

「S×UKILAM (スキラム) 連携: 多様な資料の教材化ワークショップ」第7回全国版 WS に附属図書館スタッフが参加し、現職教員、大日本印刷株式会社 (DNP) と連携し、同社のシステム「みどころキューブ®」を利用した、時代やテーマ等の観点から絵双六を一覧できる教材を作成した。また、連携し



た現職教員により、学校現場で、本キューブを活用した授業実践が行われ、成果としてまとめられた。

上図：MIDOKORO CUBE「絵双六から学ぶ「日本の歴史や文化」」

下図：教材スライド
「発見！探検！超必見！？
絵双六のMIDOKORO」



<https://images.dnpartcom.jp/cube/sugoroku/>
<https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/item/07ws-01>

* デジタルアーカイブを活用した学校教材のコレクションを公開

「東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ」にて、デジタルアーカイブを活用した学校教材のコレクションを公開した。同コレクションでは、「S×UKILAM (スキラム) 連携：多様な資料の「教材化」ワークショップ」で本学教職員・学生が作成に関わった成果物、本学デジタルアーカイブを活用した成果物を主に公開している。

<https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/collection/teaching-materials>
<https://lib.u-gakugei.ac.jp/news/20241209>

大学史資料室における展示活動

東京学芸大学資料室では、2年サイクルで常設展示を開催している。サイクル2年目にあたる令和6年度は「東京学芸大学のあゆみ」をテーマに以下の展示を開催し、本学の創設以降の歴史について資料や写真などから紐解いた。

- ・令和6年4月12日（金）～6月21日（金）
「東京学芸大学の創設とキャンパスの移り変わり」
- ・令和6年7月2日（火）～9月27日（金）
「草創期小金井地区の附属小・中学校」
- ・令和6年10月15日（火）～12月20日（金）
「大学での学びと学生生活」
- ・令和7年1月14日（火）～4月4日（金）
パネル展示「東京学芸大学附属幼稚園のあゆみ—小金井園舎を中心に—」



<https://www.u-gakugei.ac.jp/shiryoshitsu/exhibition/>

附属学校図書館等との連携

* 2 階展示コーナーでの附属学校成果物展示

令和 6 年度は、附属国際中等教育学校と附属高等学校の成果物展示が行われた。

- ・「文学は戦争を抑止するのか？」附属国際中等教育学校（令和 6 年 5 月 8 日～9 月 27 日）
- ・「18 歳成人へ向けての金融教育」附属高等学校（令和 6 年 9 月 27 日～令和 7 年 5 月 30 日）

* 「みんなで学ぼう！ 学校司書講座 2024」への協力

東京学芸大学学校司書部会により令和 6 年 12 月 14 日（土）に開催された「文科省事業報告会 みんなで使おう！学校図書館 Vol.16」に、山崎裕子学術情報課長が講師として登壇し、学校図書館と大学図書館の連携について報告を行った。

<https://doi.org/10.50889/0002000918>

* 附属小金井中学校（GREEN TECH ENGINEER LAB）からの什器の寄贈

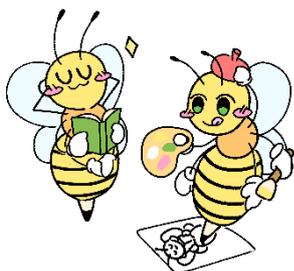
東京学芸大学 EXPLAYGROUND のラボの一つである GREEN TECH ENGINEER LAB に所属する附属小金井中学校生徒の皆様から、図書館に什器の寄贈を受けた。同ラボでは、令和 2 年から中学校生徒が自ら森に入り、樹木の間伐を行い、社会・問題解決につながる制作物を作っている。

令和 6 年度は 2 種類の看板の寄贈を受け、レファレンスカウンター、ラーニングコモンズに配置し、活用している。



<https://www.facebook.com/GREENTECHENGINEERLAB/>

<https://www.instagram.com/npomidorinodamkitasagami/?hl=ja>



4. 加盟組織

・ 国立大学図書館協会 (JANUL)

<https://www.janul.jp/ja>

・ 国立教育系大学図書館協議会 (JANUEL)

* 国立教育系大学図書館協議会サブ・コンソーシアム

国立教育系大学でサブ・コンソーシアムを組み、Elsevier社の電子ジャーナル・パッケージ製品について、平成17年以降、本学が契約窓口となり一本化した契約を行っている。大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE) 提案を基本としつつ、教育系大学の事情に配慮した措置が適用されている。令和6年現在、本学を含む9大学が参加している。

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/januel>

* 教育系サブジェクトリポジトリ構築事業

国立教育系大学を中心に私大なども含め6大学 (大阪教育大学、兵庫教育大学、奈良教育大学、愛知教育大学、上越教育大学、文教大学) の協力を得て、リポジトリのメタデータに教育主題情報を付与する事業を行っている。「学術機関リポジトリデータベース (IRDB)」や「CiNii Research」などのサイトで、学校種別や教科名から教育関連情報を検索可能とすることを目的としている。

<https://www2.u-gakugei.ac.jp/~library/edusr/>

・ オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR)

令和元年度より、当館は同協会に運営委員および作業部会員を派遣している。令和6年度も引き続き同協会に作業部会員 (2名) を派遣し、リポジトリを通じた知の発信システム構築の推進、我が国のオープンアクセス・オープンサイエンスに資する活動を行った。

<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

・ 大学図書館コンソーシアム連合 (JUSTICE)

大学図書館コンソーシアム連合では、日本の大学における教育・研究活動に必須である電子ジャーナルをはじめとした学術情報を、安定的・継続的に確保して提供するための活動を推進している。当館も加盟し、作業部会委員 (2名) を派遣し、電子ジャーナル契約に向けた情報収集、交渉等を行った。

<https://contents.nii.ac.jp/justice>

利 用 案 内

1. 開館時間

	授業期	休業期
月～金	8:30-21:30	8:30-17:00
土・日・祝日	11:00-18:00	

2. 各種サービス時間

	平日		土・日・祝日	学外者 可否
	授業期	休業期		
書庫入庫/出納	8:30-21:00	8:30-16:30	11:00-17:30	出納のみ可
修士・博士論文閲覧室利用				可
グループ学習室の利用				----
セルフコピー				可
マイクロ資料利用	8:30-12:00, 13:00-16:30		----	可
カウンター内でのコピー				----
貴重書利用(事前申請が必要)	8:30-16:30			可
レファレンス	レファレンス	8:30-17:00 (文献の受取は16:30まで)	----	可
他大学図書館の	紹介状の発行			----
利用	文献取寄せ・借受			----

3. 貸出冊数・期間

	貸出区分	冊数	期間
本学教職員及び学生 (教職員, 学部学生, 大学院生, 特別専攻科の学生, 研究生, 科目等履修生)	一般図書	12冊	1ヶ月
	雑誌	3冊	1日
卒業生, 現職教員 一般市民(満18歳以上, 他大学等に所属していない者)	一般図書	6冊	2週間

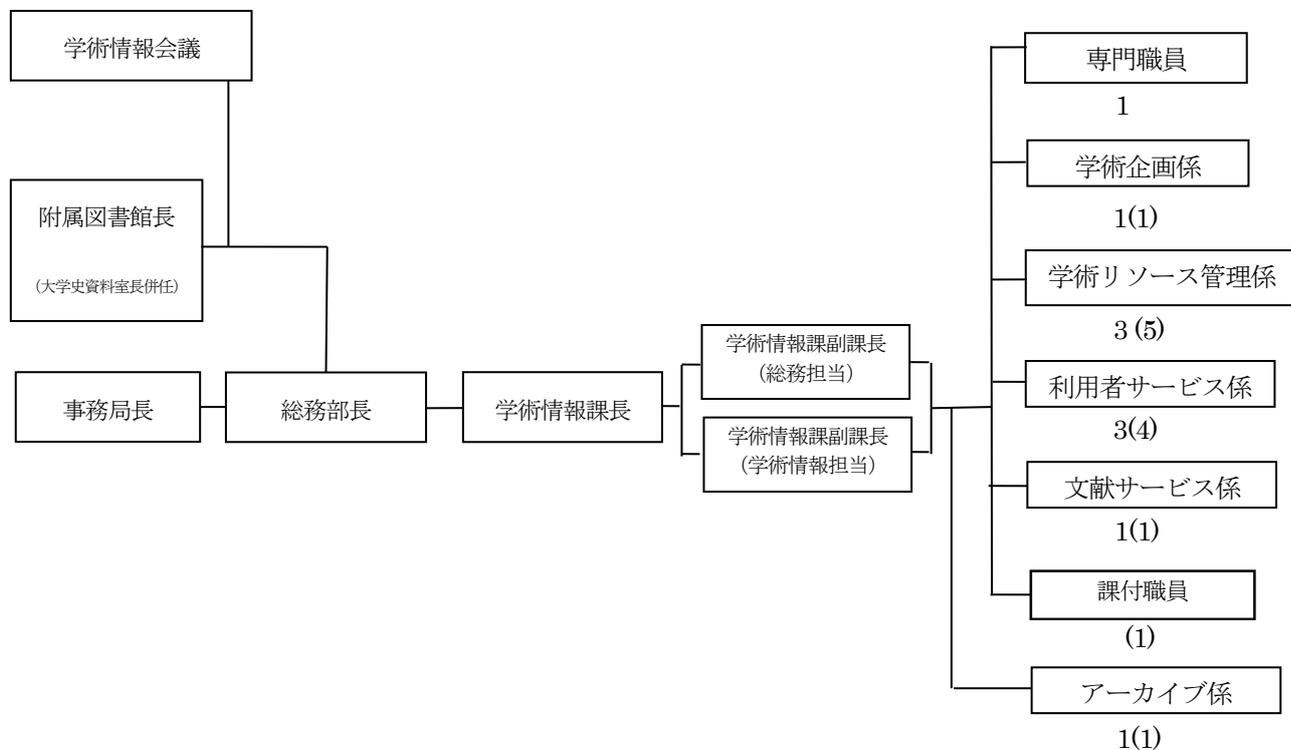
4. インターネットサービス

- ・ 附属図書館ホームページ (図書館からのお知らせ, 利用案内, 活動報告等を掲載)
- ・ OPAC(Online Public Access Catalog, 蔵書の約 75%にあたる約 700,000 件が検索可能)
- ・ マイライブラリ (学内者のみ。インターネットを通じた利用状況照会, 各種申し込み)

組 織

1. 組織

(令和7年5月1日現在)



2. 職員数

(令和7年5月1日現在)

課 長	副課長 ・ 室長	専門職員 ・ 係長	主任・係員等	合 計
1	2	6	4 (13)	13 (13)

() 内は、
非常勤職員
数で外数

3. 歴代附属図書館長

氏 名	在職期間	氏 名	在職期間
阪 本 一 郎	昭 24. 7.31～昭 34. 3.31	小 林 文 人	昭 62. 4. 1～平 3. 3.31
久 富 貢	昭 34. 4. 1～昭 36. 3.31	野 村 東 助	平 3. 4. 1～平 5. 3.31
千々和 実	昭 36. 4. 1～昭 38. 3.31	大 井 清 吉	平 5. 4. 1～平 7. 3.31
岩 田 孝 三	昭 38. 4. 1～昭 43. 3.31	岡 本 靖 正	平 7. 4. 1～平 9.11. 9
桜 井 芳 朗	昭 43. 4. 1～昭 43. 5.19	水 田 徹	平 9.11.10～平 11. 3.31
鎌 田 正 宣	昭 43. 5.19～昭 43. 6.30	鷺 山 恭 彦	平 11. 4. 1～平 15. 3.31
大 内 進	昭 43. 7. 1～昭 46. 3.31	高 鷺 忠 美	平 15. 4. 1～平 16. 3.31
神 蔵 重 紀	昭 46. 4. 1～昭 48. 3.31	細 江 文 利	平 16. 4. 1～平 20. 3.31
藤 本 光	昭 48. 4. 1～昭 50. 3.31	出 口 利 定	平 20. 4. 1～平 22. 3.31
辻 本 芳 郎	昭 50. 4. 1～昭 52. 3.31	長 谷 川 正	平 22. 4. 1～平 24. 3.31
桑 原 経 重	昭 52. 4. 1～昭 54. 4. 1	藤 井 健 志	平 24. 4. 1～平 28. 3.31
稻 森 潤	昭 54. 4. 2～昭 58. 4. 1	大 石 学	平 28. 4. 1～平 30. 3.31
石 渡 毅	昭 58. 4. 2～昭 62. 3.31	川 手 圭 一	平 30. 4. 1～

4. 学術情報会議名簿(令和7年度)

所属・職名等	氏 名	備 考
附属図書館長	川 手 圭 一	職指定 委員長
総合教育科学系	松 尾 直 博	職指定 学系長
人文社会科学系	木 村 守	
自然科学系	土 橋 一 仁	
芸術・スポーツ科学系	鉄 矢 悦 朗	
図書館学	前 田 稔	委員長が必要と認めた者 総合教育科学系教育学講座
総務部長	清 水 研 司	職指定

所蔵資料

1. 特別コレクション

1)国内関係

望月文庫 (東京府青山師範学校創立50年記念文庫)	大正15年に東京府青山師範学校創立50年記念事業のひとつとして、師範教育に関する図書を集めたもので、望月軍四郎氏らの厚意によって設置された。往来物や明治初年以來の初等教育の教科書、教育書を含むコレクションである。(貴重図書)	7,627冊
松浦文庫	松浦鎮次郎氏を中心とする教育史編纂会が昭和13年に『明治以降教育制度発達史』を完成させ、会を解散させるにあたって、その図書、資料を東京府大泉師範学校に寄贈したもので、松浦氏自身の自筆草稿、教育法規、小学校教科書、教育史関係資料等が含まれる。(貴重図書)	1,470冊
日本近代教育史資料	江戸時代から戦前までの、往来物、双六、教科書、図書などの教育史関連資料。(貴重図書)	約6,700冊
双六コレクション (近世庶民教育資料)	小学尋常科高等科修業壽語禄、教育善悪子供双六、単語の図壽古呂久、女教訓出世双六など、近世庶民教育及び近世児童教育に寄与した江戸から明治にかけての双六コレクションである。(貴重図書)	194点
竹早文庫	東京第一師範学校女子部が昭和22年に戦時中文部省の外郭団体であった日本文化中央連盟の蔵書を一括購入したもので、哲学、史学、文学及び社会科学分野の図書、全集及び学術雑誌を含む。	約14,000冊
瀬川文庫	本学元教授の故瀬川三郎氏の旧蔵書を昭和44年に寄贈を受けたもので、ギリシャ文化・思想をはじめ、本学で教授された教育原理、教育哲学関係の図書等のコレクションである。	1,356冊
教育課程文庫	昭和22年初頭に米国から日本に寄贈された資料を中心に、米国の代表的教科書・教育専門書、日本の国定及び民間編集の教科書、学習指導要領等を含む。	7,910冊
西村文庫	西村四郎氏(サクラクレパス相談役)より寄贈された明治初期教科書『西画指南』(日本で最初の図画教科書)をはじめとする明治初期から昭和戦前期に至る美術教育関係資料。(貴重図書)	約3,800冊
梶文庫	本学元教授の梶外志子氏の旧蔵書。算数・数学教育を中心とする図書・雑誌・教科書など。	5,269冊

IFEL(The Institute For Educational Leadership)資料	IFELは、戦後文部省とCIE(GHQ民間情報教育局)が共催した教育指導者講習。この講習会の研究成果である「教育指導者講習研究集録」はIFELの実態を示す貴重な資料であり、特に本学で開設した小学校の管理や教育内容に関するものが多く含まれる。	186冊
プランゲ文庫雑誌コレクション	メリーランド大学のプランゲ文庫に含まれている戦後の日本占領下、特に1945年から1949年にかけて発行された資料のうち、教育関連の雑誌1,646タイトルのマイクロフィッシュ版。	3,918シート
戦後の教科書・指導書	小学校・中学校の教科書・指導書、高校の教科書について、各社から出版されたものを網羅的に所蔵。	約50,000冊
学習指導要領	幼稚園教育要領から小・中・高等学校、特別支援学校(養護・盲・聾学校)にわたって、学習指導要領を網羅的に所蔵。	約1,200冊
墨田民研資料	本学元教授故海老原治善氏を初代所長として、東京都教職員組合墨田支部(現墨田区教職員組合)により設立された墨田民主教育研究所が教育実践の研究を進めるため収集してきた資料群の一部。人権教育・同和教育・教育労働運動を主題とする図書・雑誌・機関紙など。本学に全学必修科目「人権教育」が開設されたことをふまえ、寄贈を受けた。	923冊
谷川俊太郎合唱コレクション 文庫《声のオーロラ》	詩人 谷川俊太郎氏から寄贈された自作の詩による合唱曲の楽譜約470冊のほか、同氏の詩集、音楽CD資料などを収蔵。平成29年に本学音楽科教室が開催した合唱講座に谷川氏が講師として招かれ、その記録等を収めた書籍『声の世界を抱きしめます』(東京学芸大学出版会)を製作する過程で、同氏所蔵の合唱楽譜の寄贈を受けることになった。本コレクションは同書のために書き下ろされた詩「合唱」の一節から、文庫《声のオーロラ》と命名された。	約520冊

2)海外関係

ドイツ教育学集書	1820年から1957年にかけてドイツで出版された教育学関係の図書、雑誌、モノグラフシリーズからなる。特に二つの世界大戦を含む1920年～30年代の資料が多い。[1978年国立大学大型コレクション]	2,478冊
英国教育学文献集成	1900年以降に発行されたイギリスの教育関係資料が中心。ヨーロッパ諸国等の教育関係資料も若干含まれている。[1979年国立大学大型コレクション]	2,011冊
フランス教育学集書	17世紀以降にフランスにおいて発行された教育論、教育史、教育方法に関する集書。[1980年国立大	176冊

	学大型コレクション]	
ロシア・ソビエト教育研究雑誌コレクション	19世紀から20世紀のロシア、ソビエト連邦における教育関係の雑誌、目録、個人著作などをマイクロ化した資料(マイクロフィッシュ)。[1981年国立大学大型コレクション]	522シート
ヘボンその他の外国人編纂による日本語・東洋語辞書コレクション	ヘボンの『和英辞典』初版(1867)をはじめとする幕末から明治期に刊行された外国人による日本語・東洋諸語の辞典18種からなるコレクションで、殆どが稀覯の原本である。[1983年国立大学大型コレクション](貴重図書)	25冊
欧米障害児教育基本文献集成	特殊教育に関する米、英、独、仏の文献集成で、1956年以降に刊行された図書を中心とし、心理学、教育学、生理学全般を含むコレクションである。[1984年国立大学大型コレクション]	866冊
17世紀-19世紀フランス教育史コレクション	17世紀中葉から19世紀に出版されたフランス教育に関するコレクションで、稀覯本を含む。[1989年国立大学大型コレクション](貴重図書)	262タイトル (276冊)
ルドルフ・シュタイナー文献コレクション	ルドルフ・シュタイナーの著作、講演録418点と弟子たちの著作272点からなるコレクションで、人智学、神智学を中心に宗教、教育、芸術等の分野にわたる。[1993年国立大学大型コレクション](貴重図書)	690タイトル (740冊)
ERIC資料	ERIC (Educational Resources Information Center) が作成した教育関係の二次資料のうち、RIE (Resources in Education)に収録された原報(一次資料)をマイクロ化したもの。	470,827シート
外国教科書	フィンランド、ドイツ、フランス、韓国などを中心に、各国で使用されていた外国の教科書の資料群。1960~1970年代が中心。	約5,000冊

2. 電子ジャーナル

エルゼビア社のScienceDirect等約10,000タイトルを契約している。(令和7年4月現在)

サービス名	提供元	タイトル数
ScienceDirect	Elsevier	2,330
Arts and Sciences I Collection	JSTOR	184
Psychology & Behavioral Sciences Collection	EBSCO	445
Education Source	EBSCO	1,911
Academic Search Premier	EBSCO	4,699
合 計		9,569

3. 電子ブック

Maruzen eBook Library等約16,000タイトルを購入している。(令和6年4月現在)

サービス名	提供元	タイトル数
Maruzen eBook Library	丸善雄松堂	1,369
KinoDen	紀伊國屋書店	206
EBSCO eBOOK Collection	EBSCO	135
Springer eBooks	Springer	14,672
Elsevier eBooks	Elsevier	11
合 計		16,393

4. オンラインデータベース (学内LANに接続したパソコンから利用可能なデータベース)

- ① 朝日新聞クロスサーチ
- ② MathSciNet
- ③ PsycINFO
- ④ ERIC
- ⑤ SciFinder Discovery Platform for Academics
- ⑥ Scopus
- ⑦ ジャパンナレッジLib (追加：国史大辞典・角川古語大辞典)
- ⑧ TKCローライブラリー
- ⑨ 雑誌記事索引集成データベース
- ⑩ ナクソス・ミュージック・ライブラリー
- ⑪ LISTA(Library, Information Science & Technology Abstracts)
- ⑫ GreenFILE

5. CD-ROM, DVD-ROM (館内特定端末での提供)

- ① CD毎日新聞
- ② 明治の読売新聞, 大正の読売新聞, 昭和の読売新聞
- ③ 新編国歌大観
- ④ 角川日本地名大辞典
- ⑤ デジタル伊能図
- ⑥ 大漢和辞典

6. デジタル教科書 (館内特定端末での指導者用デジタル教科書の提供)

■小学校 (令和7年4月現在)

科目	出版社	学年
国語	東京書籍	1～6年
書写	東京書籍	1～6年
地図帳	東京書籍	
算数	東京書籍	1～6年
生活	東京書籍	上,下
家庭	東京書籍	5,6年
保健	東京書籍	3-4年, 5-6年

道徳	東京書籍	1～6年
	日本文教出版	1～6年
英語	東京書籍	5～6年
理科	大日本図書	3～6年
図画工作	日本文教出版	1～6年

■中学校（令和7年4月現在）

科目	出版者	学年
書写	東京書籍	1～3年
技術	東京書籍	1～3年
家庭	東京書籍	1～3年
保健体育	東京書籍	1～3年
道徳	東京書籍	1～3年
	日本文教出版	1～3年
英語	東京書籍	1～3年
美術	日本文教出版	1～3年

7. 自館作成デジタルコンテンツ

- ① 東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ（図書館資料の他、学内コンテンツを公開）
- ② 東京学芸大学リポジトリ
- ③ 学位論文データベース



施設・設備

1. 図書館施設

1) スペース利用状況

使用区分	面積	割合	備考
サービススペース	3,193㎡	39.8%	閲覧室等
収蔵スペース	2,450㎡	30.5%	開架書架を含む
管理スペース	635㎡	7.9%	
その他	1,747㎡	21.8%	カフェを含む
合計	8,025㎡	100.0%	RC地下1階地上3階建

2) 閲覧座席数等

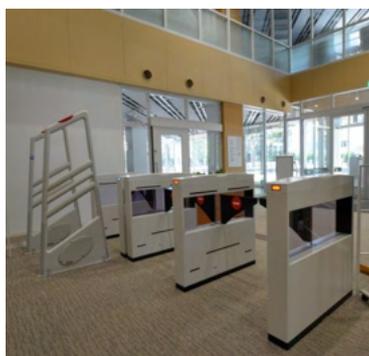
事項		数量	備考
閲覧座席数		740席	
開架図書冊数		約148,000冊	
図書収容力*	棚板延長	25,474m	
	収容可能冊数	約826,000冊	開架閲覧+書庫

*この他に、図書館の建物とは別棟の「外部保管庫」に約7万冊の収容力あり。

2. 主要設備

1) 図書館電動設備

設備	数量	備考
電動式集密書架	1式(2,774連)	地階書庫
入退館ゲート	3式	※平成27年4月導入 入館ゲート(2ゲート) 1式 書庫用ゲート(1ゲート) 1式 退館ゲート(1ゲート) 1式
ブックディテクションシステム	1式	IDEC BP2020-2



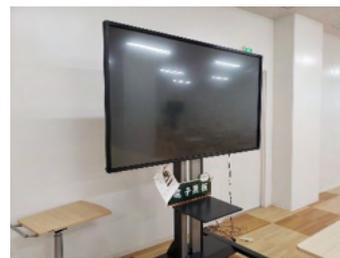
*入退館ゲートおよびブックディテクションシステム

2)視聴覚機器

機 器	数 量	備 考
ビデオデッキ	5台	VHS 4台, B1台
LDプレーヤー	3台	
DVDプレーヤー	8台	ブルーレイ対応
CDプレーヤー	2台	MD複合機1台を含む
ステレオ装置	1台	

3)デジタル教科書提供用機器 (令和7年3月31日現在)

機 器	数 量	備 考
電子黒板	2台	SONY製 75インチ
ノートPC	5台	



*電子黒板

4)図書館コンピュータシステム主要機器

システム	機 器	機 種	数量
図書館システム (令和3年度更新)	業務サーバ, 情報サービスサーバ	ICTセンターシステム内仮想 マシン	2
	業務用端末	Fujitsu ESPRIMO D7010/F	29
	ネットワークプリンタ	RICOH SP6420	1
	ハンディターミナル	BT-600-R	4
	利用者用端末 (蔵書検索用)	Fujitsu ESPRIMO D7010/F	5
	利用者用端末 (情報検索用)	Fujitsu ESPRIMO D7010/F	4
	講習会用ノートPC	Fujitsu LIFEBOOK A7511/G	3
	自動貸出装置	住友スリーエム ABC-T1	1
	図書館システムソフトウェア	LIMEDIO (RICOH)	1
図書館Webサーバ (令和3年度更新)	Webサーバ	ICTセンターシステム内仮想 マシン	1
東京学芸大学リポジトリ	JAIRO-Cloud (Weko2)	国立情報学研究所のクラウド サービスを利用	1
デジタルアーカイブシステム (令和3年度更新)	デジタルアーカイブシステム サーバー	PRIMERGY RX2540 M5	1

5)ネットワーク設備

	地階	1階	2階	3階	合計
情報コンセント	-	134	90	21	245
無線LANアクセスポイント	-	3	4	1	8

統 計

1. 主たる利用対象者数

1)学生数 (令和7年5月1日現在)

学部学生	特別 専攻科 学生	大学院 (修士課程)	教職 大学院	大学院 連合 (博士課程)	その他の 学生	合 計
4,416	19	242	426	168	149	5,420

2)職員数 (令和7年5月1日現在)

学 長	理 事	監 事	教 員	附属学校運営参事	附属学校教員	職 員	合 計
1	5	2	273	2	340	220	835

2. 蔵 書

1)受入図書・雑誌数

		図 書 (冊)			雑 誌 (種)		
		和 書	洋 書	計	和雑誌	洋雑誌	計
令 和 6 年 度	購 入	3,957	123	4,080	341	57	398
	受 贈	736	262	998	369	6	375
	製 本	146	4	150	-	-	-
	除 却	1,201	1,522	2,723	-	-	-
	合 計*1*2	4,839 (4,376)	389 (350)	5,228 (4,726)	710 (587)	63 (15)	773 (602)

*1 除却は含まない。 *2()内は附属図書館備付分

2)蔵書冊数

	図 書 (冊)			雑 誌 (種)		
	和 書	洋 書	計	和雑誌	洋雑誌	計
令和6年度末	699,981	218,171	918,152	8,697	3,312	12,009

3)視聴覚資料 (令和7年3月31日現在)

資料タイプ	タイトル数	資料タイプ	タイトル数
CD	2,271	LD	114
レコード	1,331	ビデオテープ	1,183
カセットテープ	206	DVD	1,865
映画フィルム(16/8mm)	230	マイクロフィルム/フィッシュ	178

3. 利用状況

1)開館日数

年 度	平 日	土日祝日	合 計
令和6年度	227日	85日	312日

2)入館者数

年 度	種別	平 日	土日祝日	合 計
令和6年度	総 数	193,128人	17,534人	210,662人
	1日平均	856人	206人	675人

3)貸出冊数*1

年 度	種別	平 日	土日祝日	合 計
令和6年度	総 数	35,498冊	4,858冊	40,356冊
	1日平均	154冊	57冊	127冊

4)視聴覚資料利用状況

年 度	利用件数
令和6年度	154

5)参考質問受付件数

		学 生	教職員	学外者	合 計
令和 6 年度	利用案内	18	12	8	38
	文献所在調査	181	127	50	358
	事項調査	50	22	19	91
	合 計	249	161	77	487

6)学内複写(単位：枚数)

		学内者		学外者	合 計
		私 費	校 費	私 費	
令和 6 年度	カウンター内	989	4,871	284	6,144
	セルフ機	—	—	—	100,767
	合 計	—	—	—	106,911

7)入門セミナーおよび図書館活用セミナー実施回数

○入門セミナー

種 別	回 数
100分（ガイダンス+情報検索指導）	25
50分（ガイダンス）	13
支援不要	1
合計	39

○図書館活用セミナー

学 期	回 数
春学期	9
秋学期	6
合計	15

4. 相互協力

1)文献複写(単位：件)

		学外への依頼			学外からの 受付
		校 費	私 費	合 計	
令和 6 年度	国 内	495	788	1,283	659
	国 外	6	0	6	0
	合 計	501	788	1,289	659

2)現物貸借

年 度	借 用	貸 出
令和6年度	174冊	296冊

3)閲 覧

年 度	依 頼	受 付
令和6年度	17件	12件

5. 市民への公開

1)貸出状況

年 度	登録者数*1	貸出冊数
令和6年度	628人	3,551冊

*1 令和6年度末（令和7年3月31日）現在の総登録人数。

6. 機関リポジトリ

1) 登録コンテンツ数

年 度	一次情報(本文データ)	二次情報(メタデータ)
令和 6 年度末現在	9,441件	25,790件

2) 東京学芸大学発行紀要の公開(令和 5 年度)

部 門	掲載記事数(機関リポジトリ公開数)
東京学芸大学論叢 (第2・3集)	4
東京学芸大学紀要 (第76集)	
総合教育科学系	28
人文社会科学系	17
自然科学系	14
芸術・スポーツ科学系	13
教職大学院	10
機構	9

※第 60 集(平成 20 年度)以降, 掲載論文はすべて機関リポジトリで公開。第 71 集以降は, 冊子体での刊行を中止し, 電子でのみ刊行。

3) 利用状況

年 度	アクセス数	ダウンロード数
令和 6 年度	749,130件	1,427,048件

7. デジタルアーカイブ 登録コンテンツ数 (令和 6 年度末現在)

コレクション名	件数	コレクション名	件数
学校教員のための研修動画	88件	浮世絵に見る学びと遊び	73件
キャンパスアーカイブ	30件	往来物	2,504件
東京学芸大学アーカイブ	19件	おもちゃ絵	64件
師範学校アーカイブ	58件	心学資料	105件
明治期教科書	2,161件	旧外地教科書	8件
絵双六	155件	その他教育史資料	366件
教材	15件		

8. 資料費等予算 (単位：千円)*1

			令和5年度
図書購入費(資料費)	附属図書館	図書費*2	15,160
		雑誌費	6,278
		電子ジャーナル経費	20,269
		データベース経費	11,751
		その他	160 (留学生経費)
		小計	53,618
	研究室等	教員研究用図書費	16,615
		教員研究用雑誌費	7,768
		小計	24,383
	合計		78,001
製本費	図書館製本費	280	
	研究室等製本費	112	
	合計	392	
総計			78,393

*1 附属図書館資料費は予算ベースの金額であるが、研究室等の資料費、および製本費は執行ベースの金額である。

広 報

1. 出版物

タイトル	刊行頻度
図書館利用案内	—
東京学芸大学附属図書館概要	年 1 回
東京学芸大学附属図書館かわらばん	年 2 回

2. ウェブサイト

サービス	URL
附属図書館ホームページ	https://lib.u-gakugei.ac.jp/
公式 X	https://x.com/gakugei_lib
E-TOPIA：教員・教育支援者を目指す学芸大生のためのページ	https://lib.u-gakugei.ac.jp/etopia
東京学芸大学教育コンテンツアーカイブ	https://d-archive.u-gakugei.ac.jp/



※ 東京学芸大学附属図書館かわらばん

沿 革

昭和 24 年 5 月	東京第一師範学校，東京第二師範学校，東京第三師範学校及び東京青年師範学校を統合して，東京学芸大学が設置され，附属図書館を設置 本館を世田谷地区に置き，他に 4 分館・1 分室を置く
昭和 30 年 3 月	3 分館・1 分室を小金井分館に統合
昭和 36 年 3 月	小金井地区に図書館施設を新築(図書館 1,765 m ² ，書庫 808 m ²)
4 月	小金井分館を本館とし，世田谷本館を分館とする
昭和 39 年 3 月	世田谷分館を小金井地区に統合
昭和 49 年 9 月	図書館新館を開館
昭和 52 年 4 月	業務への電算機導入を開始
昭和 54 年 5 月	電気通信大学と閲覧業務共同処理システムを開始(昭和 63 年 3 月まで)
昭和 56 年 3 月	利用者向け情報検索端末装置を導入
平成 2 年 6 月	オンライン利用者用目録(OPAC)の運用開始
平成 4 年 4 月	ILL(Inter Library Loan)システムの運用開始
10 月	授業期の土曜日開館を開始
平成 7 年 1 月	授業期の日曜・休日開館を実施
平成 8 年 5 月	図書館ホームページを開設，所蔵資料デジタルアーカイブの公開を開始
平成 9 年 4 月	夜間大学院及び昼夜開講制開設に伴い，時間外開館を延長
平成 11 年 3 月	図書の不用品決定及び廃棄の基準を制定
平成 14 年 10 月	教育系電子情報ナビゲーションシステム(E-TOPIA)のサービスを開始
平成 15 年 4 月	学外者（本学卒業生及び現職教員）に対する館外貸出を開始 多摩地区国立 4 大学附属図書館(東京外国語大学，東京学芸大学，東京農工大学，電気通信大学)間の相互利用協定を締結
10 月	月例休館日の廃止及び年末年始開館日の拡大
11 月	学部生の書庫入庫を拡大
平成 16 年 4 月	国立大学法人化（資産を新法人に継承） 学生証と図書館利用証を一体化
平成 17 年 2 月	自動貸出機設置
4 月	開館時間を 9:00 から 8:30 に変更
平成 18 年 4 月	「東京学芸大学リポジトリ」公開 『図書館ニュース』を『ライぶらり』に誌名変更（～平成 22 年 7 月）
5 月	学部 1 年次情報処理授業支援として「情報の検索と活用」を実施
平成 19 年 1 月	図書館天井のアスベスト除去工事と空調設備工事に伴い全館休館（～3 月）
3 月	「マイライブラリ」サービスを開始
平成 20 年 8 月	地下書庫電動式集密書架の改修に伴い，地下書庫を閉庫（～11 月，平成 21 年 9 月～10 月）
平成 21 年 3 月	教育系サブジェクトリポジトリポータル公開

4月	貴重資料の修復・保存事業を実施(～平成22年3月)
平成22年1月	学校図書館運営専門委員会が「授業に役立つ学校図書館活用データベース」を公開
7月	『ライぶらり』を終刊し、『まめリブ』を創刊(～平成24年1月)
平成23年10月	「学習サポータ」制度を開始
平成27年5月	附属図書館の耐震改修工事を完了, リニューアルオープンラーニングコモンズを設置
平成28年4月	授業期の閉館時間を22:00から21:30に変更
8月	附属学校の学校図書館を使った授業成果の展示を開始
平成29年7月	『図書館かわらばん』を創刊
平成30年3月	学内公募により図書館キャラクターが「まなぶんぶん」に決定
10月	図書館総合展のポスターセッション及びキャラクターグランプリに参加。ポスターセッションが出展者賞, キャラクターグランプリで「まなぶんぶん」が会場賞を受賞
平成31年1月	国立国会図書館・図書館向けデジタル化資料送信サービス提供開始
令和元年10月	公式Twitter(現行X)運用開始
令和2年 4月～6月	新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休館(4月9日～6月1日)
6月	「学芸大デジタル書架ギャラリー」を公開
12月	「学芸大デジタル書架ギャラリー」が電子出版アワード2020「エクセレント・サービス賞」及びLODチャレンジ2020「教育LOD賞」を受賞
令和4年1月	附属図書館増築棟オープン
4月	デジタル教科書コーナーを設置, デジタル教科書閲覧用PC貸出を開始
11月	複数の教科書会社と「東京学芸大学デジタル教科書・教材に関する協定書」の締結を開始
令和5年3月	「E-TOPIA: 教員を目指す学芸大生のためのページ」を公開 「国立大学法人東京学芸大学オープンアクセス方針」を制定
9月	東京学芸大学附属図書館とExplayground推進機構MOLの活動がLibrary of the Year 2023「優秀賞」を受賞
令和6年1月	館内展示棚の学生・教職員への貸出を開始
3月	「E-TOPIA: 教育支援者を目指す学芸大生のためのページ」を公開
7月	「学芸大デジタル書架ギャラリー」が第59回国立大学図書館協会賞を受賞
11月	第26回図書館総合展2024ポスターセッション来場者投票で当館ポスター「未来の先生を育てる図書館づくり」が2位を受賞
12月	「教科書の中の源氏物語LOD」を公開(10月), LODチャレンジ2024データ作成部門優秀賞を受賞

平面図

1 階



2 階





東京学芸大学附属図書館概要 2025（令和 7 年度）

発行日：令和 7 年 6 月 12 日

編集発行：東京学芸大学附属図書館

〒184-8501 東京都小金井市貫井北町 4 - 1 - 1

<https://lib.u-gakugei.ac.jp/>